

取扱説明書

モノタロウ 電波掛時計 スタンダード 注文コード：7785289

このたびは、電波掛時計 スタンダードをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。
いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

警告	この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。	注意	この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「ケガや傷害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。
-----------	---	-----------	---

ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。
また、本製品の分解・改造・修理は、決して行わないでください。

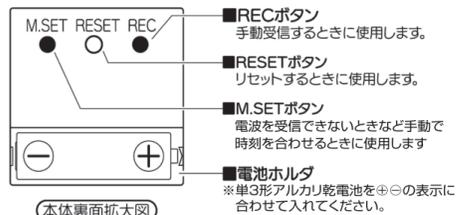
警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 本製品を本来の用途以外で使用しないでください。 ● 落下や過度の衝撃、振動を与えないでください。本製品を破損したり重大な事故を引き起こすおそれがあります。 ● 本製品に破損、異常個所がある場合は、直ちに使用を中止してください。 ● 電池は分解、加熱、火の中に入れてはしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。 ● 電池が液漏れした場合は、液に接触しないでください。万一、電池から漏れた液が皮膚や衣服に付着した場合は、ケガのおそれがあるので、すぐに水で洗い流し、目に入ったときには失明などのおそれがあるので、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。 	注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 掛け方が不適切な場合、落下する危険がありますので以下の注意事項をお守りください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 掛け具に時計を掛けた際に、時計本体を上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。 ・ 時計は垂直・水平に掛けてください。時計に傾きがあると時計の精度や機能が正常に働かせません。 ・ ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に掛けてください。 ・ 落下の原因となりますので、壁掛け部以外には掛けしないでください。 ・ 壁の裏側に電気配線等がある場所に取り付けると掛け具で電気配線等を傷つけ、火災・感電につながるおそれがあります。事前に電気配線等の位置を確認し、取り付けてください。 ・ 壁の材質・構造を確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んでください。（材質・構造が不明の場合は、建築メーカー等に相談してください。） ● 高温や低温のところ、直射日光のあるところ、湿気やホコリの多いところでの使用や保管はしないでください。 ● お手入れの際は乾いた布で本体を乾拭きしてください。水に濡らしたり、洗剤や揮発性の溶剤の使用はしないでください。
-----------	---	-----------	--

製品仕様

時間精度	平均月差±30秒以内(気温25℃で使用した場合) ※電波時計による時刻修正を行わない場合 ※指針(針の位置)誤差 アナログ時計の特性上、指針誤差が生じる場合がありますが、故障ではありませんのでそのままお使いください。 秒針±1秒以内、時・分針±3度以内	電波受信	40kHz/60kHzのどちらか受信しやすい電波を受信し、現在時刻に合わせる ●自動受信(最多6回/1日)●手動受信
使用温度範囲	0~+40℃※結露なきこと (外観/機能に支障無く、連続使用可能な温度範囲)	使用電池	単3形アルカリ乾電池(別売)1個
		夜間秒針停止機能	午後10時0分~午前6時0分の間は、秒針のみ12時位置で停止

※ 上記の仕様は、予告なしに変更することがあります。

各部の名称



※電池を入れるときは⊕側から入れてください。
※電池を外すときは⊖側から外してください。

ご使用方法

- 1 電池を入れる
単3形アルカリ乾電池1個を、電池ホルダの⊕⊖の表示に合わせて入れる。
- 2 初期電波受信を開始
電池を入れると電波受信状態となり、針が早回りをして、正午(12時位置)で一旦停止します。

- 注意**
- 電波受信中(4~12分間)は針が停止したままになりますが、故障ではありません。電波受信の結果がわかるまで、そのままお待ちください。

- 電波受信に成功した場合、自動的に針を現在時刻に合わせます。
- 電波受信に失敗した場合、時刻を修正しないで、針は正午(12時位置)より通常の運針を始めます。
→ **電波受信ができなかった場合** を参照。

電波時計について

電波時計とは
標準電波を受信して自動で時刻を修正する機能を持つ時計です。
※ 電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。
標準電波とは
情報通信研究機構(NICT)が運用している時刻情報をのせた電波です。
標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と、佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はかね山標準電波送信所」の国内2か所にあります。
※ 標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という精度の「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波の送信停止について
標準電波は毎時15分と45分から各1分間は一部の時刻情報の送信が中断されます。また、送信所の定期点検や落雷などの影響により停波(送信停止)することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。
日本国外でのご使用について
本製品は、日本の標準電波以外は受信できません。海外で使用した場合、ご使用になる場所の条件により日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った日時を表示する場合があります。あらかじめご了承ください。

電波の受信範囲について
送信所からおおむね半径1000kmとされています。
※ 電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。

福島 おたかどや山 標準電波送信所(40kHz)
約1,000km
九州 はかね山 標準電波送信所(60kHz)
約1,000km
中間地帯は、どちらの周波数でも受信可能な場合があります。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近く、交通量の多い場所など電波障害の起きやすいところ
- ビルの中、ビルの谷間、山など電波を遮るものの近く
- 鉄筋、鉄骨の建物の中や地下
- 金属製の戸戸やブラインドの近く
- 高圧送電線、ラジオやテレビの送信所の近く
- 自動車、電車、飛行機などの中
- 家電製品やOA機器、蛍光灯などの照明器具の近く
- スチール机などの金属製家具の上や近く
- 朝・夕の時間帯や雨天のとき
- ※ 電波障害などにより誤った電波を受信し、時刻を誤表示する場合は、リセット操作を行い使用する場所を変更してご使用ください。

自動電波受信機能について

本製品は、時刻を修正するために、毎日、内蔵プログラムにより自動電波受信を行います。電波を受信できない場合、内蔵クォーツの精度で計時し、次の自動受信時間に再び電波受信を行います。

夜間秒針停止機能について

本製品は内蔵プログラムにより、午後10時0分から午前6時0分までの間は、秒針のみ12時位置で停止します。
※ 夜間秒針停止中であっても自動受信のときは、秒針が動くことがあります。
また時・分針も通常運針以外の動きをする場合がありますが故障ではありません。
※ 夜間秒針停止機能の解除、時刻設定はできません。

リセット操作について

操作中に不明な点がでてきた場合、**RESETボタン**を押してください。設定されている内容がお使い始めの状態に戻ります。針が早回りして12時位置で停止し、再度4~12分間電波受信状態となります。
※ **RESETボタン**は、先の細い尖っていない棒などで押してください。
針などの鋭利なものを使用すると、ボタンが破損しますのでご注意ください。

静電気の影響

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このような場合、リセット操作をしてください。

電池の交換について

- 電池容量が少なくなると、秒針の進みが目に見えて遅くなります。自動電波受信のときは針がぐるぐる回ります。このような場合は、速やかに新しい電池に交換してください。
- ※ 買い置きの電池を使用した場合、乾電池に示されている「使用推奨期限」や保管状態により、電池寿命が短くなることがあります。

電波受信ができなかった場合

- ①朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておくと、受信できる可能性が高くなります。
- ②設置場所を変える/受信をやり直す
本書 **電波時計について** の **電波を受信しにくい環境** と **手動受信について** を参考に、設置場所を変えて、再度、受信をさせてください。
- ③手動で時刻を設定する
電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。
本書 **手動で時刻を設定する** を参照。

手動受信について

- 1 通常運針時(電波受信中以外)に、**RECボタン**を秒針が早回りを始めるまで押し続ける。
- 2 電波受信状態となり、針が早回りをして、正午(12時位置)で一旦停止します。

- 注意**
- 電波受信中(4~12分間)は針が停止したままになりますが、故障ではありません。電波受信の結果がわかるまで、そのままお待ちください。

手動で時刻を設定する

- 注意**
- 電波受信中は、手動による時刻設定はできません。
※ 電波受信中とは、受信のための時分秒針の運針中または停止中のことです。
- 1 通常運針時(電波受信中以外)に、**M.SETボタン**を秒針が早回りを始めるまで押し続ける。
※ 針が12時位置で停止し、手動で時刻が設定できる状態になります。
 - 2 (秒針が停止中)に**M.SETボタン**を押す。
※ 30秒以上何も操作をしないと通常運針を始めます。
※ 1回押すごとに分針が1分ずつ進みます。ボタンを押し続けると早回りをし、放すと停止します。
※ お使い始めの電波受信中の針は、正午(12時位置)で停止し、合わせたい時刻が午前の場合は12時間以上移動させて現在時刻に合わせてください。
 - 3 手動設定が終了したら、**RECボタン**を押す。
※ 手動で時刻を設定した場合、自動受信時間になると、電波を受信する状態になります。電波受信に成功した場合、自動的に針を現在時刻に合わせます。

故障かな?と思ったときには…

※ 製品が正常に作動していないときは下記を参考に確かめください。

考えられる原因	処置
電池容量が少ない	新しい電池に交換してください。
電池を入れた直後の電波の受信の準備中	そのままお待ちください。 早回りしている針は正午(12時位置)で一旦停止します。電波を受信すると、自動的に針を現在時刻に合わせます。 ※その間ボタン操作はしないでください。
時刻修正中	電波受信に成功した場合、自動的に針を現在時刻に合わせます。電波受信に失敗した場合、通常の運針を始めますが、現在時刻ではありません。 本書 電波受信ができなかった場合 を参照してください。

考えられる原因	処置
夜間秒針停止中	そのままお待ちください。
午前/午後を間違えて設定している(手動設定時)	※ 内蔵プログラムにより、午後10時0分から午前6時0分までの間、秒針が12時位置で停止します。 ※ 午前/午後を間違えて設定すると、日中に夜間秒針停止機能が作動してしまいます。
針がぐるぐる回った直後の電波受信	※ 本製品は、秒針位置の誤差を自動で修正します。
秒針位置の自動補正中	

考えられる原因	処置
電池容量が無い	
電池が入っていない	電池の⊕⊖の向きを確かめて、新しい電池を入れてください。
電池が正しい向きで入っていない	
電池端子の接触不良	端子の表面をふいて電池を入れ直してください。

考えられる原因	処置
電池容量が少ない	新しい電池に交換してください。
電波障害	リセット操作をしてください。 (本書 リセット操作について を参照)

考えられる原因	処置
電波の受信	そのまま12分程お待ちください。その間ボタン操作はしないでください。
電池容量が無いまたは容量が少ない	新しい電池に交換してください。